



最上級生(四回生)を訪ねて

角田(安倍)智慧子様

二〇〇〇年記念大会(ホテル・JAL・CITY 田町)の懇親会のお開きに「20世紀の終わりを明治の歌詞で懐かしの蛍の光を！」の声に、大先輩の角田さんが伴奏をしてくださって、大合唱の裡に散会したのはついこの間のことのようにです。

あれから十年ちかく、その後お膝を弱められていかがお過ごしかと過日お訪ねしましたところ、お身体のほうは至ってお元気、瀟洒なお宅に近い和風レストランで、昭和初期の千里山での思い出ばなしを楽しく語ってくださいました。

(文責 対談者 柿崎真吾)

角田さんが千里山に来られたのはいつ頃ですか？

昭和になったばかりの頃に仙台から参りました。まだ分校時代で三年生の春(写真)を学校は千里第二として独立(昭和四年)しました。その年に学校から、天橋立へ一週間泊り込みで行ったときの、これが懐かしい記念写真です(下段中列右から四人目)。

千里山住宅ができて間もない頃ですね。



噴水を中心に道が整備されて、お勤めのお父さん方も、学校へ行く子どもも、朝みんな流れるように駅へ向かって降りて行き、小学生は線路をく

ぐって長閑な風景の一本道を学校へと通いました。途中は右に田圃、左に小川や池がありましたから、男の子が蛙をとって女の子の筆箱へ入れておいたりするんですよ(笑)。



奥住(國安)さんもお訪ねしようとしたのですが、ちよっと体調を崩されておられて残念でした。

あの方とは足の具合でお互い行き来できないけど、いつもお便りし合って、四回生同士で励まし合ってますの。

四回生の女子の方まだ覚えておられるでしょう？

ええ、ええ、朝比奈さん、民野さん、武蔵さん、垂水さん、森山さん、山田さん、藤田さん(田さんの姉さん)、男子ではあなたのお兄さん(笑)・・・。

私は角田さんの唯一の弟さんの安倍謙一さんと同級でした。妹さん三人、計五人みな千二ですね。

そうですね。下二人は卒業してませんけど。

昭和の大恐慌も、子供にはあまり関係なかったでしょう？

お父さん方はたいへんだったでしょうけど子供達には大きな戦争がなかっただけ良き時代だったんでしょうね。新興住宅に、いろんなところにお郷里をお持ちの、言葉も少しずつ違う人達の集まりで、大阪といっても千里山は違っていたように思いますの。当時としては遠い仙台から来ても、そんなに苦労もせず、楽しい思い出がいっぱいです。

千二のご卒業は昭和八年、それから女学校へ？

ウィルミナ高女(大戦中大阪女学院に改名)に通いました。二年生のときの室戸台風で、電車がみな止まり長堀橋から淀川・神崎川を渡って、歩いて千里山まで帰ったんです。怖かったですよ。卒業して専科に進みましたが、そこで保良せき先生に看護衛生や英語を教わりました。いまとなれば良い思い出です。

千里山線の車輛も一輛から二輛になり、どういふ訳かなんとなく前は中学生、後は女学生と棲み分けていたように思います。「男女七歳にして席を・・・」の風潮がまだあったんでしょうね？(笑)

ピアノは早くからお習いになったのでは？

千里山には上野を出られた先生がお二人もいらして、私は伊達しづ先生に教わりました。あちこちのお家の窓からピアノの音がよく聞こえたものです。昭和十五年の春に再び仙台へ一家揃って還ることにりましたが、その少し前の思い出の写真です(中列右から六人目。三郎先生、朝比奈隆先生も一緒に。二年下の柳父(藤井)幸子さんは優秀で、最近お亡くなりになるまでよくお便りくださいました。三塚(五代)則子さん、穴戸(伊藤)清子さん・・千里山の娘さん方、少ないけど坊や達。この間まで教会の奏楽が弾けたのも、少しはお人にお教えられるのも、生涯の楽しみを与えていただいた千里山のお蔭です。

昭和十五年といえは紀元二千六百年、翌年は太平洋戦争開戦と千里山も戦時色に変わり、それから戦後にかけて嫌な思い出や悲しい思い出もあり、その意味では角田さんは千里山の良き思い出をしつかり

持ち続けておられるわけですね。

仙台も空襲でずいぶんやられました。

戦前の千里第二の女子生徒としては、いちばん良い時期に千里山に住むことができたのかも知れませんが、諸先生やお友達、周りは豊かな縁と、美味しい果物にも恵まれて、少女時代、娘時代を過ごすことができたのは、ほんとうに幸せでした。

千里山会のみなさま、千里第二のみなさま、いつまでもお幸せにと、心からお祈りいたしております。

あとがき

角田様は膝を弱くされているだけで、とても明るくお元気でした。ご主人様を亡くされて三十年になられるそうですが、ピアノを弾くお楽しみと、日曜日は、いまも近くの教会へいらっしゃるのが、お元気の源泉のように思えました。

総会で、またお目にかかれることを心から願いますが、お宅までお見送りして辞した次第です。

(安倍家は、大森信代表の大森家の先住御一家です)

